

# 身近なことから取り組もう！

## おうちでできる地球温暖化対策

問い合わせ 環境対策グループ ☎(05)2958

### ★ できることから始めよう

国は、令和2年の秋に宣言した『2050年カーボンニュートラル※』を実現するため、5月に地球温暖化対策の推進に関する法律を改正しました。

同法には、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする方針が明記され、国民や国、地方自治体、事業者、民間団体などが密接に連携して地球温暖化対策を推進すると定められています。

現在、市では、平成25年度の数字を基準に、令和12年度までに年間の二酸化炭素総排出量を26%減らすことを目指しています。

目標達成のためには、市民の取り組みにより8,290トンの1世帯当たり約338kgの二酸化炭素排出量の削減が必要です。

数字だけを見ても、想像しにくいかもしれませんが、次のページで紹介する取り組みを実践すると、年間で約350kgの二酸化炭素排出量を減らすことができます。

一つひとつは小さな取り組みでも、積み重ねれば地球を守ることに繋がります。ぜひ家庭などで実践してください。

※『2050年カーボンニュートラル』は、2050年までに温室効果ガスの排出量から森林などによる吸収量を差し引いてゼロにすることです。

### ★ 進む地球温暖化

地球温暖化は、人間の生活や、自然生態系にさまざまな悪影響を及ぼす全世界共通の問題です。

地球温暖化によるここ数十年の気候変動によって、氷河の融解や海面水位の上昇、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響が観測され始めています。

このまま有効な温暖化対策をとらなかった場合、21世紀末の世界の平均気温は、20世紀末と比較して、2.6～4.8℃上昇し、平均海面水位は最大82cm上昇する可能性が高いと予測されています。

かけがえのない地球を次の代に引き継ぐため、私たち一人ひとりが積極的に地球温暖化防止に取り組む必要があります。

### 7月7日は地球を想う日～クールアース・デー～

第34回主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）が7月7日の七夕の日に開催されたことをきっかけに、毎年7月7日が『クールアース・デー』と定められました。

『クールアース・デー』は、天の川を見ながら、家庭や職場で、地球環境の大切さを国民全体で再確認し、低炭素社会への歩みを実感するとともに、それぞれができる地球温暖化対策の取り組みを推進するための日です。

星を見ながら私たちにできることを考えてみましょう。

